

5. 産学公連携

5.1 東京イノベーションハブの活用

都産技研では、中小企業間の交流、企業と大学、学協会、研究機関等と交流・連携し、新たなビジネスを創出する場として約 400 m²のオープンスペースを本部に配置している。都産技研が主催する情報発信事業の他、学協会が有するシーズや研究成果などを都内中小企業の製品化・事業化へ生かすための学協会連携事業などを開催し産業交連携事業を推進した。

平成 24 年度の取り組みは以下の通りである。

(1) 都産技研主催

開催年月日	催事名
平成24年 6月14～15日	平成 24 年度研究成果発表会
平成24年 7月 5日	震災復興技術推進シンポジウム 「資源を無駄にしない省エネ・創エネ技術」
平成24年 8月 2日	足立区・(学)東京電機大学見学会
平成24年 9月 7日	震災復興技術推進シンポジウム 「中小企業の現場で役立つ復興技術」
平成24年 9月28日	トライボコーティング・ドライコーティング合同技術研究会
平成24年11月 2日	広域首都圏輸出製品技術支援センター開設セミナー 「CE マーケティング入門 (EMC 指令、低電圧指令、機械指令)」
平成24年11月 5～6日	第 26 回日本国際工作機械見本市見学会
平成24年11月13日	震災復興技術推進シンポジウム 「復興から未来を創るデザインイノベーション」
平成24年11月20～22日	産業交流展 2012 見学会
平成25年 2月14日	第 28 回東京都異業種交流グループ合同交流会
平成25年 2月21日	特別セミナー 「サービスイノベーションから価値あるものづくりを 一様々な事例を基に現場力を磨くには」
平成25年 3月11日	震災復興技術推進シンポジウム 「イノベーションによる市場創造へ ～ものづくり企業の医療・福祉機器分野への参入～」

上記催事の他、平成 24 年度は本部開設記念イベント、広域首都圏輸出製品技術支援センター開所式や就職説明会等にも利用。

(2) 都産技研共催

開催年月日	催事名	他主催者
平成24年 4月21日	科学技術週間特別行事「未来のギアを 回せ! Tokyo ふしぎ祭エンス 2012」	(公大)首都大学東京、東京臨 海副都心グループ
平成24年 7月27日	こうとう産学交流会	江東区
平成24年 9月21日	サービスロボット安全規格 ISO13482 の概要とその課題	(一社)日本機械学会関東支 部東京ブロック
平成24年10月 5日	極表面の硬さ評価の最新動向	(公社)砥粒加工学会

平成24年10月15日	木材接着研究のいま	(一社)日本木材学会 木材接着研究会
平成24年10月17日	電池をささえる材料、要素技術	(公社)日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会
平成24年10月26日	珪瑯技術講演会	(公社)日本セラミックス協会 珪瑯部会
平成24年11月 7日	ドライプロセスの新潮流 一次世代“高イオン化”スパッタリン グ技術交流会ー	(一社)表面技術協会表面改質・ 硬化部会 材料機能ドライプロセス部会 電鍍・金型の表面処理研究部会
平成24年11月10～11日	サイエンスアゴラ 2012	(独)科学技術振興機構
平成24年11月16日	温度計測・回顧と展望	(公社)計測自動制御学会
平成24年11月27日	中小企業のための安全保障貿易管理説 明会(適格説明会)	経済産業省
平成24年11月29日	繊維系研究機関シンポジウム	(社)日本繊維機会学会 関東支部
平成24年11月30日	在京大使館見学	東京都知事本局外務部
平成24年12月14日	制振工学の現在(いま)	制振工学研究会
平成25年 1月25日	東京 FPGA カンファレンス 2012	特定非営利活動法人 FPGA コンソーシアム
平成25年 3月 8日	知的財産セミナー	関東経済産業局

(3) 都産技研後援

開催年月日	催事名	主催者
平成24年9月25～26日	HDMI Plugfest	(一社)組込みシステム技術協会
平成25年3月19日	発明大賞表彰式	(公財)日本発明振興協会

(4) 都産技研連携機関との催事

開催年月日	催事名	主催者
平成24年 6月26～28日	助成金(新製品・新技術開発、共同研 究、創業)審査	(公財)東京都中小企業振興公社
平成24年12月17～18日	中小企業応援ファンド面接審査	(公財)東京都中小企業振興公社
平成25年1月23日	平成25年度「中小企業経営・技術 活性化助成事業」事業説明会	(公財)東京都中小企業振興公社

5.2 コーディネート事業

コーディネート事業は、平成 21 年 4 月に東京都から都産技研に移管され本部を拠点として事業の推進を図ってきたが、平成 22 年 2 月からは多摩テクノプラザ開設に伴い、多摩テクノプラザを拠点とした多摩地域での事業も実施している。

産学公連携コーディネータは、本部では電機・電子、センサー・システム、機械・金属、情報・通信、環境化学・分析などの分野で 5 名、多摩テクノプラザでは生産技術・機械設計、環境・化学、機械・金属などの分野で 3 名の外部専門家に委嘱し、産学公連携に関わる相談、支援を行った。平成 24 年度の実績は以下の通りである。

相談件数（件）

合計	内 訳	
	来所	電話、メール
779	407	372

成約件数（件）

合計	内 訳		
	産・学	産・公	産・産
31	9	6	16

5.3 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源が十分ではない中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供し合い、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が有効な手段の一つとなる。こうした交流を促進するために、新しい異業種交流グループを発足させる「グループ形成支援」と既存グループ間の連携を促進する「グループ間交流支援」を行った。

(1) グループ形成支援

都産技研では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）の新グループを昭和 59 年度から毎年発足させ、現在 23 グループ約 330 名の会員が活動している。

平成 24 年度は、本部および多摩テクノプラザにおいて異業種交流グループ会員を募集し、平成 24 年 7 月に新グループを結成した。各グループに専門の助言者を配置して、平成 25 年 3 月まで毎月 1 回定例会を開催し、自社紹介、都産技研施設の見学、懇親会などを実施した。

グループ名	開催日	回数(回)	参加者数(人)
本部グループ	7月～3月、各1回	9	184
多摩テクノプラザグループ	7月～3月、各1回	9	173

(2) グループ間交流支援

1) グループ協議会

グループ協議会は、既存グループが活動状況や計画を報告することでお互いのグループ活動の参考にするとともに、グループ間の交流を促進する目的で開催している。第 28 回合同交流会の開催についても検討を行い、開催を決定した。

会議名	開催日	参加グループ数(参加者数)
グループ協議会	5月29日	15(17)

2) 合同交流会および合同交流会実行委員会

グループ間の交流を深めるために、全グループのメンバーが一堂に会する第 28 回合同交流会を平成 25 年 2 月 14 日、本部（東京イノベーションハブ、講堂）にて開催した。本年度は「がんばろう中小企業～東京から発信～」のテーマのもと、①製品展示会、②基調講演、③ビジネスマッチングタイム、④新グループ紹介などを実施した。開催に向けて、各グループから選任された委員による合同交流会実行委員会を設置し、実施内容を検討した。合同交流会および実行委員会の開催実績は以下の通りである。

会議名(開催日)	開催回数(回)	参加者数(人)
第 28 回合同交流会(2月14日)	1	260
合同交流会実行委員会	6	104

合同交流会

①製品展示会およびプレゼンテーション

製品展示企業等数：43社（内、プレゼンテーション実施は20社）

②基調講演

演題：放射性廃棄物：東京の中小企業の技術力が実現させる安全な処理方法

講師：国立大学法人東京大学人工物工学センター客員研究員 木下幹康 氏

③ビジネスマッチングタイム

3) 既存グループへの支援

自主運営に移行している既存の21グループに対し、会議室の利用、講演依頼への対応、情報の提供など、グループ活動への支援を行うとともに、グループ会員からの相談について対応した。定例会の開催などで既存異業種交流グループが都産技研を利用した実績は、以下の通りである。

会議名	利用回数（回）	参加者数（人）
定例会など	65	655

5.4 業種別交流会

業界が抱えている技術的な課題を含めたニーズを的確に把握し、各事業に反映するために業種別交流会を開催している。中小企業の技術力向上のために、業界の活動状況や技術的問題点、今後の取り組みなどについての情報や意見の交換を行った。

No.	業 界 名	開催年月日	企業参加者数 (都産技研・商工部)	内 容
1	豊生活提案協同組合	平成24年 4月27日	18 (5)	都産技研施設を見学後、環境技術グループの研究および事業全般の説明を行い、業界から技術的課題に関する要望を受けた。
2	多摩繊維関連業界	平成24年 7月13日	13 (12)	多摩テクノプラザおよび商工部事業を説明後、産地の現状と課題、組合の活動状況等の報告を受け、意見交換を行った。
3	区内繊維関連業界	平成24年 7月26日	18 (10)	墨田支所および商工部事業について説明後、産地の現状と課題、組合の活動状況等の報告を受け、意見交換を行った。
4	東部金属熱処理工業組合	平成24年 9月5日	17 (8)	熱処理・表面処理に関する技術相談例や最近の話題を提供後、熱処理業界から最近の状況、技術的課題や要望を受けた。
5	超音波応用懇談会	平成25年 2月1日	9 (4)	都産技研事業の取り組みについて説明後、機器利用、共同研究、図書に関する要望を中心に意見交換を行った。
6	東京鼈甲組合連合会	平成25年 3月28日	17 (8)	都受託研究報告およびべっ甲端材からのデザイン要素の製作実演を行った後、今後取り組みに向けた意見要望を受けた。

5.5 技術研究会

技術力および技術開発力の向上を目指す中小企業の技術者とともに、今年度は新たに5件の技術研究会を設立し、製品開発など、技術情報の交換を積極的に行った。

No.	名 称	設立年月	活 動 目 的	企業延べ参加者数 (都産技研)	開催回数
1	計測制御研究懇談会	昭和52年 12月	計測制御技術の向上、研究発表会・講習会等の開催、情報収集等	27 (16)	7
2	化学技術研究会	昭和62年 4月	化学技術の向上、相互の技術交換	49 (9)	3
3	静電植毛加工技術研究会	昭和62年 4月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会等の開催、技術資料の収集	10 (2)	1
4	超音波応用懇談会	昭和63年 3月	超音波および周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流等	76 (18)	6
5	PC 情報研究会	平成元年 7月	パソコンを主体とする情報機器の高度利用技術の研究、講習会の開催等	85 (44)	22
6	締結問題研究会	平成6年 2月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会等の開催、技術資料の収集	54 (28)	6
7	トライボコーティング技術研究会	平成6年 11月	表面改質技術およびその評価法についての情報収集、情報交換、共同研究	202 (15)	8
8	城東デザイン研究会	平成7年 4月	デザインに関する情報収集、デザイン力の向上、製品企画・デザインにおける異業種間の連携促進等	90 (57)	19
9	東京都健康福祉技術研究会	平成8年 4月	健康・福祉に関する機器・用具・用品の技術と応用、管理運用についての研究	79 (31)	7
10	粉末冶金技術研究会	平成9年 4月	粉末冶金全般に関する技術について、情報収集、情報交換、共同研究等を実施	79 (4)	2
11	信頼性技術研究会	平成9年 4月	信頼性技術の向上、研究討論会・講演会等の開催、技術情報交換	185 (28)	11
12	表面科学交流会	平成10年 4月	めっき会社を中心とした企業の連携を強化し表面科学に関する見聞を広める	27 (4)	3
13	ユニバーサルファッション製品の企画開発研究会	平成13年 10月	ユニバーサルファッション製品および高齢者対応製品の開発支援・情報交換	101 (33)	12

No.	名 称	設 立 年 月	活 動 目 的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催回数
14	制御システム研究会	平成 14 年 4 月	制御システム全般について、製品 開発に必要な技術力の向上	20 (13)	4
15	照明技術研究会	平成 14 年 4 月	照明技術の研究、周辺技術に関する 知識の向上のための情報交換	39 (20)	4
16	環境技術研究会	平成 14 年 5 月	環境汚染防止技術と資源有効利用 技術について情報交換を行い、企 業の活性化に寄与する	39 (43)	4
17	循環型技術研究会	平成 14 年 7 月	循環型技術の情報交換や、異業種 交流・産学公連携による技術開発 の場として活動する	108 (12)	5
18	八王子産地オリジナル製 品開発研究会	平成 14 年 8 月	八王子産地オリジナル製品開発の ためのデザイン情報の交換、販路 の開拓等の勉強会を行う	76 (9)	3
19	東京温度検出端工業会技 術懇談会	平成 18 年 4 月	温度センサーおよび貴金属メーカ ー間の技術交換、最新情報の共有	23 (2)	1
20	衣服圧研究会	平成 21 年 4 月	ストレッチ素材、ストレッチ製品 の市場拡大と国際競争力強化	21 (2)	2
21	デザインマーケティング 技術研究会	平成 23 年 4 月	デザイナーのセルフマーケティング について研究。地域地場産業と の合同プロジェクト体制や営業技 術の研究	20 (6)	3
22	東京都ロボット研究会	平成 23 年 4 月	サービスロボットやその類似技術 における技術面、ビジネスモデル、 ブランド確立に向けた連携	184 (56)	20
23	航空宇宙部品製造技術研 究会(アマテラス)	平成 23 年 10 月	航空宇宙産業におけるサプライヤ ーチェーンの構築、マーケットの獲得	93 (25)	7
24	塗膜性能評価研究会	平成 23 年 12 月	情報交換、共同調査・研究等を通じ、 既存の技術にとらわれない新たな 評価方法の検討・普及	15 (5)	2
25	ガラス技術交流会	平成 24 年 3 月	広くガラス技術に関して、会員相 互の交流や国際交流を推進するこ とで、技術者の活性化や新技術の 理解習得を図る	218 (44)	11
26	次世代自動車技術研究会	平成 24 年 4 月	ハイブリッド車(HV)や電気自動車 (EV)、燃料電池車、クリーンディー ゼル車など、変化する自動車産業界 での新たな市場開拓のため情報共 有等	20 (8)	8

5.6 行政等支援機関連携

5.6.1 協定・覚書締結一覧

大学研究機関、産業支援機関、行政機関、金融機関と協定、覚書等を締結し、産業振興および中小企業振興のための事業連携を図っている。各機関との「協定書」、「覚書」の締結状況は以下の通りである。

No	機関名	協定書・覚書	締結年月日
1	公益財団法人東京都中小企業振興公社	協定書	平成18年 4月 1日
		覚書	平成19年 1月 4日
2	一般社団法人コラボ産学官	協定書	平成18年 8月10日
		秘密保持契約書	平成18年 9月 1日
3	産業技術大学院大学	協定書	平成19年 2月26日
4	公立大学法人首都大学東京	業務協定書	平成19年 3月15日
5	学校法人東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	協定書	平成20年 4月 1日
6	国立大学法人長岡技術科学大学	協定書	平成20年 8月26日
		覚書	平成21年 8月 6日
7	新宿区	協定書	平成20年 9月22日
8	東京都立多摩科学技術高等学校	覚書	平成20年10月14日
9	学校法人芝浦工業大学	協定書	平成21年 3月12日
		教育研究協力に関する協定	平成21年11月10日
10	板橋区	業務連携に関する覚書	平成21年 6月 3日
11	港区	協定書	平成21年 7月16日
12	多摩信用金庫	たましん事業支援センターの活用に関する覚書	平成21年 7月16日
13	府中市	覚書	平成22年 5月13日
14	さわやか信用金庫	覚書	平成22年 6月 1日
15	国連大学サステイナビリティと平和研究所	覚書	平成22年10月28日
16	独立行政法人産業技術総合研究所	協定書	平成22年11月24日
17	北区	覚書	平成23年 2月21日
18	財団法人まちみらい千代田	覚書	平成23年 4月14日

No	機関名	協定書・覚書	締結年月日
19	品川区	協定書	平成23年 6月 1日
20	東京都立産業技術高等専門学校	協定書	平成23年 9月12日
21	江東区	協定書	平成23年 9月14日
22	朝日信用金庫	協定書	平成24年 1月27日
23	一般財団法人機械振興協会	協定書	平成24年 3月 8日
24	公益財団法人日本発明振興協会	協定書	平成24年 4月 9日
25	江東信用組合	協定書	平成24年 6月 6日
26	学校法人東京電機大学	協定書	平成24年 7月23日
27	学校法人明星大学	協定書	平成24年10月12日
28	公益財団法人東京都農林水産振興財団	協定書	平成24年12月 7日
29	日野市	覚書	平成25年 2月26日
30	昭島市	協定書	平成25年 3月12日
31	城南信用金庫	覚書	平成25年 3月13日
32	一般財団法人化学研究評価機構	協定書	平成25年 3月21日

5.6.2 大学などとの連携

大学や研究機関等と各種事業や共同研究に取り組み、連携事業を推進した。

(1) 公立大学法人首都大学東京

- ・都市科学・産業技術連携戦略会議
 - 全体会(1回)、ロードマップ策定・推進会議(2回)、フォローアップ部会(5回)
- ・「環境・省エネ技術」分野(平成22年度開始)で3テーマ、「安全・安心」分野(平成23年度開始)で3テーマ、「高度な防災都市」分野(平成24年度開始)で3テーマの共同研究を実施
- ・研究成果発表会(6月)で発表者派遣および外部評価委員委嘱を依頼
- ・共同研究3テーマ実施
- ・「多摩テクノプラザ技術交流会2012」(9月)連携発表2名
- ・都産技研・首都大合同「電子・機械技術シンポジウム」(9月)開催
- ・「システムデザインフォーラム2012」(10月)後援
- ・首都大 研究教育交流会(10月)参加
- ・事務担当者会議(3回)
- ・インターンシップ6名受け入れ
- ・客員研究員として2名登録

- ・システムデザイン学部 多摩テクノプラザ見学会（5月）、本部見学会（6月）

(2) 産業技術大学院大学

- ・研究成果発表会（6月）で発表者派遣および外部評価委員委嘱を依頼
- ・共同研究1テーマ実施

(3) 東京都立産業技術高等専門学校

- ・研究成果発表会（6月）で発表者派遣
- ・多摩テクノプラザ「子ども科学技術教室～夏休みものづくり体験！～」(8月)で講師を依頼
- ・都員の品川キャンパス見学会（8月）、荒川キャンパス見学会（3月）
- ・東京都立産業技術高等専門学校地域連携推進委員 職員委嘱
(平成25年3月～平成26年2月)

(4) 学校法人芝浦工業大学

- ・連携大学院生5名受け入れ
- ・客員教員として8名登録
- ・研究成果発表会（6月）で発表者派遣および外部評価委員委嘱を依頼
- ・材料工学専攻 本部見学会（6月）
- ・「芝浦ハッケン展」の後援（11月）
- ・講師派遣（材料工学通論授業）（12月）
- ・コーディネータ意見交換会（1月）
- ・材料工学科・応用科学科と職員の研究者交流会（1月）
- ・共同研究1テーマ実施

(5) 国立大学法人長岡技術科学大学

- ・実務訓練生1名受け入れ（10～2月）

(6) 東京都多摩科学技術高等学校

- ・技術アドバイザー派遣（7月）
テーマ「プラスチックの利用とリサイクル」
講師 繊維・化学グループ 安田健

(7) 独立行政法人産業技術総合研究所

- ・技術経営アドバイザーの推薦と人材交流
- ・知的資産経営講座への研究員参加
- ・研究成果発表会（6月）で発表者派遣および外部評価委員委嘱を依頼
- ・担当者会議（3回）
- ・「第11回 Clayteam セミナー」後援（11月）
- ・臨海副都心センター見学会（11月）
- ・震災復興技術推進シンポジウム「イノベーションによる市場創造へ～ものづくり企業の医療・福祉機器分野への参入～」共催（3月）
- ・「利用者評価を反映した製品開発システム研究会」に職員2名の委員参加

(8) コラボ産学官

- ・本部見学会（4月）
- ・「産学官連携研究会」に、職員1名・コーディネータ1名参加（5月）
- ・第7回（7月）、第8回（3月）研究成果発表会後援

(9) 一般財団法人機械振興協会

- ・研究成果発表会（6月）で発表者派遣および外部評価委員委嘱を依頼
- ・「第1回テクノフォーラム」都産技研展示（8月）
- ・共同研究2テーマ実施
- ・「機械振興協会テクノフォーラム」後援（2月）

(10) 学校法人東京電機大学

- ・協定の締結 7月23日
産学公連携事業を通じて産学公・地域連携活動の活性化および東京の産業を支える中小企業の振興を図る
- ・本部見学会（8月）

(11) 学校法人明星大学

- ・協定の締結 10月12日
東京都内の中小企業への技術支援と高度技術者の育成における連携を図る
- ・学協会連携事業「福祉機器の現状とその有用性」（10月）で3件の講演

(12) 公益財団法人東京都農林水産振興財団

- ・協定の締結 12月7日
農工連携によって東京の産業を支える中小企業と農林水産業の振興を図る
- ・本部見学会・研究員交流会（2月）
- ・技術セミナー「放射線の基礎と人体への影響」講師依頼（3月）

(13) 一般財団法人化学研究評価機構

- ・協定の締結 3月21日
産学公連携事業を通じて化学産業界の活性化および東京の産業を支える中小企業の振興を図る

5.6.3 区市町村等との連携

地域の中小企業を支援している区市町村等との連携強化に努め、産学公連携に関する技術相談支援の拡大をはじめ、都産技研利用企業への利用料補助制度の実施など、企業支援の充実を図った。平成24年度の取り組みは以下の通りである。

(1) 区部との連携

1) 城東地域

① 江東区

- ・都産技研利用料助成を継続実施
- ・「第8回こうとう産学交流会」を共催事業として本部で開催（7月）

- ・「こうとう産学連携技術セミナー」に講師派遣（9月）
- ・「江東区民祭り」後援（10月）

②葛飾区

- ・城東支所「施設公開」を葛飾区産業フェアと同時開催（10月）
- ・葛飾区産学公連携推進協議会

③足立区

- ・足立区役所引率で足立区企業と学校法人電機大学が本部見学会実施（8月）
- ・都産技研利用料補助を継続実施

④荒川区

- ・「MACCプロジェクトフォーラム」に参加し、MTEPの事業紹介実施（1月）
- ・都産技研利用料助成を継続実施

⑤墨田区

- ・すみだ中小企業センター館長他が本部を見学（10月）
- ・墨田区産業観光部より墨田支所見学依頼（学校法人東洋大学11月、勤医会東葛看護専門学校2月）

2)城南地域

①大田区

- ・大田区加工技術展示商談会への出展（6月）
- ・城南支所「施設公開」を「おおた研究開発フェア」と同時開催（10月）
- ・羽田アジアヘッドクォーター特区に関する委員会
- ・「おおた工業フェア2013」にパンフレット展示（2月）
- ・（公財）大田区産業振興協会評議委員
- ・大田区長の本部見学会（3月）
- ・東京商工会議所大田支部参与
- ・「下町ボブスレー」事業において、ブレードの精密測定による技術支援を開始

②品川区

- ・都産技研利用料助成を継続実施
- ・品川ビジネスクラブに特別会員として入会（5月）
- ・品川区ものづくり懇談会参加（6月、10月）
- ・品川ビジネスクラブ主催セミナー参加（6月、7月、8月、9月）
- ・「第3回ビジネス創造コンテスト」応募の協力（1月）
- ・品川区企業グループ全体交流会で「都産技研における異業種交流事業の取り組み」について講演（2月）

3)城北地域

①北区

- ・都産技研利用料助成の継続実施
- ・都産技研・北区・板橋区共催セミナー開催（会場：北とぴあ）「ドライプレス加工の現状と今後の課題」（9月）
- ・北区技術相談窓口開設支援 相談員に都産技研OB2名（5月）

②板橋区

- ・板橋産業技術支援センターとインターネットを介した遠隔相談開始（8月）

- ・都産技研・板橋区・北区共催セミナー開催（会場：板橋グリーンホール）
「機械部品と熱処理技術」（9月）
- ・「第16回いたばし産業見本市」後援および出展（11月）

4) 都心・副都心地域

① 千代田区

- ・「第5回千代田ビジネス大賞」後援（2月）
- ・都産技研利用料助成の継続実施

② 港区

- ・都産技研利用料助成の継続実施

③ 豊島区

- ・「第6回としまものづくりメッセ」への出展（3月）

(2) 多摩地域との連携

1) 八王子市

- ・先端技術センター運営委員会

2) 府中市

- ・第23回府中市工業技術展「ふちゅうテクノフェア」への出展（10月）
- ・第23回府中市工業技術展で「ものづくりセミナーin府中」（都産技研の研究成果発表会）を開催（10月）

3) 昭島市

- ・昭島市と協定書を締結 3月12日
企業等の支援に関する業務や昭島市内の児童・生徒への先端技術教育の場づくりを連携・協働して実施することにより、地域産業の活性化や人材の育成を図る
- ・協定締結を機に、多摩テクノプラザ利用料助成を都産技研全体に拡大
対象：依頼試験、機器利用等の経費 最大年間2万円まで
- ・昭島市長野県人会見学（6月）
- ・昭島市議会事務局からの依頼でスウェーデン地方自治体協議会視察（10月）
- ・昭島市から依頼で東京都市議会調査事務研究会見学（8月）
- ・多摩テクノプラザ見学 昭島市立昭和中学校（2月）

4) 立川市

- ・多摩テクノプラザ利用料助成の継続実施
- ・立川市中学校教育研究会理科部会见学（8月）
- ・「広報たちかわ」に産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデーのお知らせ掲載

5) 日野市

- ・日野市と覚書を締結 2月26日
相互に企業等の支援に関する業務を連携・協働して実施することにより、地域産業の活性化を図る

6) 青梅市

- ・青梅市工業振興対策審議会

7) その他

- ・「たま工業交流展」への出展（2月）
出展説明会実施後、多摩テクノプラザ見学会を実施（1月）

(3) 東京都立職業能力開発センターとの連携

- ・「産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー」を多摩職業能力開発センター技能祭と同時開催（10月）
- ・多摩職業能力開発連携協議会 委員として出席（9月、3月）
- ・多摩テクノプラザ職員の相互見学会（5月、6月）
- ・「合同企業説明会 in 多摩職業能力開発センター」の開催協力 多摩テクノプラザ（9月）
- ・「城南職業能力開発センター技能祭」へ出展（11月）

(4) 金融機関等との連携

① さわやか信用金庫

- ・城南支所中心の協定内容を見直し、都産技研全体の内容に変更（25年4月1日発効）。
- ・「さわやか信金ビジネスフェア」に出展（7月）
- ・信金幹部職員、支店長などの城南支所見学会を実施
- ・信金顧客のための城南支所チラシを作成し、信金の各支店に配備
- ・信金経由の技術相談を都産技研コーディネータに紹介、事業化につながる案件として対応

② 朝日信用金庫

- ・朝日信金顧客企業の本部見学会を実施（7月3回）
- ・「海外展開支援セミナー」後援およびPR（11月）
- ・「省エネルギー対策セミナー」後援および省エネ技術支援PR 12月

③ 多摩信用金庫

- ・「第10回多摩ブルー・グリーン賞」後援 5/1～12/18 表彰式（12月）
- ・都産技研・公立大学法人首都大学東京合同「電子・機械技術シンポジウム」を、多摩信用金庫との共催で、たましん事業支援センターにて開催（9月）
- ・学協会連携事業「福祉機器の現状とその有用性」を、多摩信用金庫との共催で、たましん事業支援センターにて開催（10月）
- ・震災復興技術推進シンポジウム「あつめる、まとめる、すてる…震災に学ぶ情報とのつきあい方」をたましん事業支援センターにて開催（12月）
- ・たまブルー・グリーン賞 選考委員会
- ・特別セミナー「自社の強みを知るための第一歩 明日からでも取り入れたい知的資産経営」共催 およびたましん事業支援センターで開催（3月）
- ・ラボ入居者向け 製品開発支援講座 「ものづくり企業向けの試作開発等の補助～平成24年度経済産業省補正予算の概要～について」で講師依頼
- ・「たま NAVI ウォーカー」に「産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー」の告知掲載
- ・「たま NAVI for Business」にMTEP記事掲載

④ 西武信用金庫

- ・西部信金ビジネスフェア相談ブース対応（11月）新宿 NS ビル
- ・「ビジネスフェア from TAMA」に出展（11月）

⑤ 青梅信用金庫

- ・「あおしんビジネス支援マッチング大会」に参加（10月）

⑥西京信用金庫

- ・「第11回ビジネス交流会」(4月)および第16回、17回「産学交流セミナー」相談会(6月、11月)に産学公連携コーディネータを派遣

⑦江東信用組合

- ・江東信用組合と協定書を締結 6月6日
江東区での本部開設を契機に、城東地域における地域密着型金融機関である江東信用組合と連携・協働関係を構築し、中小企業への有効な技術支援、情報提供などを迅速に実施
- ・都産技研ラボ・インキュベーション入居者向けの説明会(金融円滑化法)の講師依頼(2月)

⑧城南信用金庫

- ・城南信用金庫と覚書を締結 3月13日
地域における中小企業への支援、振興、情報交換等の分野に係る連携を円滑にするため、相互に協力し、地域産業の発展と中小企業の健全な育成発展を実現

(5)その他の連携

①一般社団法人首都圏産業活性化協会

- ・首都圏イノベーション推進会議委員(6月、7月、9月)
- ・多摩・産業コミュニティ活性化プロジェクト「計測・分析器」連絡会議委員(5月、6月、7月、9月、10月、11月)、戦略会議委員(6月)
- ・「技術連携交流会」への参加(10月中野サンプラザ)

②経済産業省

- ・中小企業の海外展開支援事業として「中小企業のための安全保障貿易管理説明会」を本部で開催(11月)

③東京区部・神奈川臨海部地域産業活性化協議会

- ・第4回東京区部・神奈川臨海部地域産業活性化協議会委員(7月)
- ・新規作成の協議会ホームページに、関連事業として都産技研のデザインセミナー(商品企画基礎講座、販売促進企画講座)を掲載
- ・「ビジネスフェア from TAMA」の協議会ブースにデザインセクターの製品を展示(11月)
- ・協議会と共催で、都産技研本部において知的財産セミナーを開催(3月)
- ・「利用者評価を反映する製品開発システム研究会」にデザインセクター職員が委員として参加(3月～)

(6)自治体を実施する技術審査事業への協力

- ・港区：港区新製品・新技術開発支援事業(3回)、商品モニター調査支援事業(1回)
- ・新宿区：新宿ものづくりマイスター認定事業実技審査(1回)
- ・文京区：文京区新製品等開発・販路拡大補助事業(2回)
- ・台東区：台東区新製品新技術開発支援事業等審査会(1回)
- ・江東区：江東区中小企業新製品・新技術開発補助事業(2回)、江東区産学連携共同研究(2回)
- ・品川区：品川区環境ビジネス支援事業(1回)、新製品・新技術開発促進事業(3回)、メイドイン品川PR事業(2回)

- ・大田区：大田区新製品・新技術開発支援事業審査会（5回）、中小企業新製品・新技術コンクール審査会（5回）
- ・北区：北区新製品・新技術開発支援事業（3回）、北区きらりと光るモノづくり顕彰（1回）
- ・板橋区：板橋製品技術大賞（5回）、新製品・新技術開発チャレンジ支援事業（2回）、Fine Works 板橋ものづくり委員会（3回）、板橋青年優秀技能者技術者表彰（1回）
- ・足立区：あだちブランド認定選考委員会（3回）、足立区研究開発補助金（1回）
- ・葛飾区：葛飾区優良工場審査会（2回）、葛飾区新製品・新技術開発等補助金交付審査会（2回）、葛飾ブランド「葛飾町工場物語」審査（3回）
- ・荒川区：荒川区新製品・新技術大賞（2回）、経営革新等支援事業補助金審査（3回）
- ・江戸川区：えどがわ産業発明コンクール（2回）
- ・八王子市：八王子市新技術・新製品開発等支援補助金審査会（1回）
- ・青梅市：おうめものづくり支援事業補助金交付審査会（2回）、おうめものづくり支援事業専門家会議委員会（1回）
- ・府中市：府中市新製品・新技術開発支援事業（2回）

5.6.4 公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携

都内中小企業の振興を図るため、平成18年、公益財団法人東京都中小企業振興公社（以下、「公社」という。）と協定を締結し、各種事業を協力して実施している。

都産技研の城東、城南の各支所長がそれぞれ東京都城東地域中小企業振興センター、東京都城南地域中小企業振興センターのセンター長を兼任し、技術支援および経営支援を統轄する体制を整えている。また、産業サポートスクエア・TAMAでは、多摩テクノプラザが主体となる「産業サポートスクエア・TAMA 運営協議会」を設置し、中小企業振興の総合的支援および事業運営を協力して実施している。

(1) 公社本社との連携

- ・連絡推進会議開催（9月）
- ・共催セミナー「中小企業の事業継続計画（BCP）作成支援セミナー」（12月）
- ・平成25年度公社助成事業説明会を本部東京イノベーションハブで開催（1月）
- ・各種助成事業などでの技術審査協力（審査会委員、書類審査、面接審査）
- ・都市課題解決のための技術戦略プログラム製品開発プロジェクト助成事業 促進会議（12月2回）
- ・都産技研「異業種グループ合同交流会」（公社後援）に公社ブースを設置し、公社の事業PRを実施（2月）
- ・日本電子株式会社向け新技術・新工法展示商談会に関係機関として展示参加（11月）
- ・第2回海外販路開拓支援セミナーでMTEPをPR（11月）
- ・「平成24年度東京の伝統的工芸品チャレンジ大賞」後援（11月）
- ・ライフサポートフェア後援（2月）
- ・「海外を目指すならまずはここから スタートアップセミナー」でPR（1月）
- ・多摩テクノプラザ見学会（5月）
- ・公社国際化支援室 見学会（11月、12月）
- ・公社異業種交流グループ 本部見学会（1月）
- ・公社広報誌「アーガス21」への記事掲載

- 「あらためて知っておきたい技術のはなし」(全4回)
- ・「都産技研メールニュース」への公社記事掲載
- ・各種事業案内チラシ等を相互に配架 など

(2) 地域中小企業振興センター内での連携

- ・実践ものづくり中核人材育成事業「売れる製品開発道場」支援(城南支所)
- ・施設公開(城東・城南支所)の共催
- ・技術支援と経営相談の連携相談および実地技術支援を実施
- ・公社事業へのポスターやチラシなどのデザイン協力
- ・運営協議会・連絡協議会、合同消防訓練の実施 など

(3) 「産業サポートスクエア・TAMA」での連携

- ・産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデーの合同開催
- ・公社コラボレーション交流会および公社コラボレーション研究会へ産学公連携コーディネータを派遣
- ・技術支援と経営相談の連携相談を実施
- ・「たま工業交流展」への出展協力
- ・創業支援施設「インキュベーション・TAMA」運営協力
- ・合同消防防災訓練の実施
- ・経産省補助金説明会を経営サポート館会議室で開催(3月)
- ・経営サポート館大会議室をセミナーに使用:FPGA/ASICを活用した製品設計(11月)、製品開発とノイズ対策(2月)、機械設計と品質管理(2月)
- ・「多摩テクノプラザ技術交流会2012」経営サポート館セミナー室を使用(9月)
- ・「多摩テクノプラザ開設3周年記念講演会」経営サポート館大会議室を使用(3月)

(4) 多摩・産業コミュニティ活性化プロジェクトへの協力と連携

東京都の都市機能活用型産業振興プロジェクト推進事業の一環として、公社多摩支社が推進機構事務局となり、東京都および都産技研が協力・連携して成長産業分野ごとのコミュニティの形成を促進した。

- ・各推進機構に技術専門家として担当者を配置した活動支援
- ・各推進機構の事業進行を検討する連絡会議、戦略会議への参加

(5) 東京都知的財産総合センターとの連携

- ・東京都知的財産総合センター(以下、「知財センター」という。)の専門相談員による特許相談(面談、電話)を本部相談ブースで継続実施
- ・東京都知的財産活用本部知的財産研究会への出席(4回)
- ・都産技研「第28回東京都異業種交流グループ合同交流会」(公社後援)に知財センターブースを設置し、知財センターのプレゼンと展示PRを実施(2月)

5.6.5 首都圏公設試験研究機関との連携

平成 14 年度より東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県公設試が連携し、都区域の枠にとらわれず、域内の中小企業の技術支援をするために、首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノレッジ・フリーウェイ(TKF)) を設立した。平成 20 年度からは横浜市も参加し、5 機関体制となった。TKF ではウェブサイトの運営や、「繊維評価技術」「IT・情報」「微細加工技術」「高分子材料」「デザイン」「熱処理・表面処理」の技術分野における研究員の情報交換を目的としたパートナーグループの活動を通じて、相互の交流を進めている。平成 21 年度には新たに「バイオ技術」パートナーグループ、平成 24 年度は「EMC」「RoHS」パートナーグループが設立された。

連携の具体的な方向性などについて検討するために、定期的に首都圏公設試連携推進会議を開催している。また、TKF 事業の成果発表の場として TKF フォーラムを企画し、連携の充実を図っている。

平成 24 年度は以下の通り会議を開催した。

	開催年月日	開催場所	参加機関	出席者数
1	平成 24 年 5 月 22 日	千葉県産業支援 技術研究所	5 機関（都産技研、埼玉県産業技術総合センター、 千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術セン ター、横浜市工業技術支援センター）、関東経済産業 局、東京都産業労働局商工部、(独)産業技術総合研 究所、長野県工業技術総合センター	24 名
2	平成 24 年 8 月 30 日	埼玉県産業技術 総合センター	※上信越公設研ネット合同会議 5 機関、関東経済産業局、(独)産業技術総合研究所、 長野県工業技術総合センター、群馬産業技術センター、 新潟県工業技術総合センター、栃木県産業技術セン ター	30 名
3	平成 24 年 11 月 30 日	都産技研 墨田支所	5 機関、関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、 (独)産業技術総合研究所、長野県工業技術総合セン ター	26 名
4	平成 25 年 3 月 1 日	神奈川県産業 技術センター	5 機関、関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、 (独)産業技術総合研究所、栃木県産業技術センター、 群馬県産業技術センター、山梨県工業技術センター、 長野県工業技術総合センター	195 名

また、他機関で実施する研究発表会に、都産技研の職員を派遣して広く技術の普及活動を行った。発表タイトル等は以下の通りである。

No.	発表タイトル	発表者	開催年月日	場 所	大会等の名称
1	応急仮設住宅の遮音性能 に関する現場実測	渡辺茂幸 神田浩一	平成 24 年 7 月 25 日	千葉県産業支 援技術研究所 天台庁舎	千葉県産業支援技術研 究所 平成 24 年度研究 成果発表会
2	Mg-Al-Zn 混合粉の焼結と その焼結体の強度	岩岡拓 青沼昌幸	平成 24 年 7 月 25 日	千葉県産業支 援技術研究所 天台庁舎	千葉県産業支援技術研 究所 平成 24 年度研究 成果発表会
3	省エネ・省面積型 塗装乾 燥炉用 VOC 処理装置の開発	萩原利哉	平成 24 年 10 月 4 日	埼玉県産業技 術総合センター	平成 24 年度 SAITEC 研究発表会

No.	発表タイトル	発表者	開催年月日	場所	大会等の名称
4	市販マグネシウム合金の異材摩擦攪拌接合性と接合界面微細構造	青沼昌幸	平成24年10月4日	埼玉県産業技術総合センター	平成24年度 SAITEC 研究発表会
5	男性用抱っこコートの開発	加藤貴司	平成24年11月7日	神奈川県産業技術センター	平成24年度 神奈川県ものづくり技術交流会
6	灌水労力を軽減する吸水性シートの開発	平井和彦	平成24年11月7日	神奈川県産業技術センター	平成24年度 神奈川県ものづくり技術交流会
7	非同期式设计による FPGA 低消費電力化手法	岡部忠	平成24年11月8日	神奈川県産業技術センター	平成24年度 神奈川県ものづくり技術交流会

5.6.6 産業技術連携推進会議

産業技術連携推進会議は、全国の公設試験研究機関および国が相互に連携し、効率的な事業運営を図るために、機関相互の情報交換や連絡調整、国への要望等の議題で開催されている。

産業技術連携推進会議の組織には、技術分野別の部会、分科会、研究会があり、技術情報の交換、共同研究、現地研修、研究発表等の活動が行われている。

平成24年度の参加実績は以下の通りである。

	開催年月日	会議名	開催場所
1	平成24年4月20日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会第1回幹事会 並びに全国繊維工業技術交流会第1回幹事会	都産技研 墨田支所
2	平成24年4月26日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 関東・東北地域連絡会総会	神奈川県産業技術センター
3	平成24年5月31日～6月1日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会総会及び全国繊維工業技術協会総会 繊維技術研究会 ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 繊維技術研究会	岐阜県毛織工業 共同組合
4	平成24年6月7日～6月8日	製造プロセス部会 第19回表面技術分科会	都産技研 本部
5	平成24年6月7日～6月8日	ナノテクノロジー・材料部会 セラミックス分科会第59回総会	京都市産業技術研究所
6	平成24年7月11日～7月12日	情報通信・エレクトロニクス部会 第17回電磁環境分科会および第22回 EMC 研究会	多摩テクノプラザ および 都産技研 本部
7	平成24年7月26日～7月27日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会デザイン研究会	兵庫県工業技術センター
8	平成24年9月27日～9月28日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会繊維試験法研究会	福島県 ハイテクプラザ
9	平成24年9月27日	第14回医療福祉技術シンポジウム(ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会主催)	都産技研 本部
10	平成24年10月18日～10月19日	ナノテクノロジー・材料部会 第50回高分子分科会	秋田ビューホテル
11	平成24年10月25日～10月26日	第50回全国繊維技術交流プラザ(ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会主催)	福野文化創造センター

	開催年月日	会議名	開催場所
12	平成 24 年 10 月 25 日～ 10 月 26 日	情報通信・エレクトロニクス部会 第 8 回電子技術分科会、第 13 回実装・信頼性研究会	福島県 ハイテクプラザ
13	平成 24 年 11 月 1 日～ 11 月 2 日	製造プロセス部会 第 20 回塗装工学分科会	ホテル サンシャイン
14	平成 24 年 11 月 1 日～ 11 月 2 日	ナノテクノロジー・材料部会ガラス材料技術分科会 第 6 回総会・研修会	都産技研本部 および 墨田支所
15	平成 24 年 11 月 2 日	関東甲信越静地域産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会総会	東葛テクノプラザ
16	平成 24 年 11 月 2 日	ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会関東・東北地域連 絡会 生産技術研究会	山形県工業 技術センター
17	平成 24 年 11 月 8 日	ライフサイエンス部会第 12 回デザイン分科会 第 6 回研究発表会	神奈川県産業 技術センター
18	平成 24 年 11 月 13 日～ 11 月 14 日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第 6 回音・振動研究会 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 情報通信研究会 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第 10 回組込み技術研究会	都産技研 本部
19	平成 24 年 12 月 5 日～ 12 月 7 日	知的基盤部会総会 知的基盤部会 計測分科会 第 12 回形状計測研究会 計測分科会 第 43 回温度・熱研究会 知的基盤部会 第 55 回分析分科会年会	ホテル福島 グリーンパレス
20	平成 24 年 12 月 6 日	ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会 第 47 回セラミックス技術担当者会議	(独)産業技術総合 研究所中部 センター
21	平成 24 年 12 月 6 日～ 12 月 7 日	ナノテクノロジー・材料部会 第 6 回木質科学分科会	地方公務員共済 猿沢荘
22	平成 24 年 12 月 11 日	第 45 回関東甲信越静地域部会 食品・バイオ分科会	(独)産業技術総合 研究所
23	平成 25 年 1 月 31 日	ナノテクノロジー・材料部会材料部会 繊維分科会 第 3 回幹事会並びに全繊協第 1 回役員会	都産技研 墨田支所
24	平成 25 年 2 月 6 日～ 2 月 7 日	ナノテクノロジー・材料部会総会	(独)産業技術総合 研究所
25	平成 25 年 2 月 22 日	関東甲信越静地域産業技術連携推進会議・関東甲信越静地 域部会総会	アルカディア 市ヶ谷
26	平成 25 年 2 月 18 日～ 2 月 19 日	製造プロセス部会メカトロ試験装置 WG	(地独)北海道立 総合研究機構

また、各会議において、都産技研の事業紹介や研究成果等の発表を行った。発表タイトル等は以下の通りである。

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	会議の名称
1	産地概況報告	大泉幸乃	平成 25 年 4 月 26 日	神奈川県産業技術 センター	ナノテクノロジー・材料 部会繊維分科会関東・東 北地域連絡会総会
2	製品開発支援用インクジェ ットプリントシステムにつ いて	木村千明	平成 25 年 6 月 1 日	岐阜県毛織工業協 同組合「毛織会館」	ナノテクノロジー・材料 部会 繊維分科会総会 及び全国繊維工業技術 協会総会
3	クエン酸ニッケルめっきの 開発からみえてきたもの	土井正	平成 25 年 6 月 8 日	都産技研 本部	製造プロセス会 第 19 回表面技術分科会
4	中小企業の海外展開支援広 域首都圏輸出製品技術セン ター（仮称）事業および支 援内容紹介	西野義典	平成 25 年 7 月 11 日	都産技研 多摩テクノプラザ	情報通信・エレクトロニ クス部会第 17 回電磁環 境分科会及び第 22 回 EMC 研究会
5	パルプ繊維へのめっきによ る導電紙の作製	上野武司	平成 25 年 7 月 12 日	都産技研 本部	情報通信・エレクトロニ クス部会第 17 回電磁環 境分科会及び第 22 回 EMC 研究会
6	アパレル技術分野による製 品化支援機器と事例紹介	加藤貴司	平成 24 年 7 月 26 日	兵庫県立工業技術 センター 繊維工業技術支援 センター	ナノテクノロジー・材料 部会繊維分科会デザイ ン研究会
7	インタラクティブ型触覚デ ィスプレイの大域情報取得 に関する研究	島田茂伸	平成 24 年 9 月 27 日	都産技研 本部	ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会
8	ボンベガスを用いた窒素酸 化物に対する染色堅ろう度 試験方法	岡田明子	平成 24 年 9 月 27 日	福島県ハイテク プラザ	ナノテクノロジー・材料 部会繊維分科会
9	「プラスチックの耐候性に 関する共同研究」報告	清水研一	平成 24 年 10 月 18 日	秋田ビューホテル	ナノテクノロジー・材料 部会高分子分科会
10	絹織物への膨潤剤を用いた ブリーツ加工	武田浩司	平成 24 年 10 月 25 日	福野文化創造 センター	全国繊維工業技術協会
11	衣服圧測定を考慮した下半 身可動柔らかダミー装置の 開発	菅谷紘子	平成 24 年 10 月 25 日	福野文化創造 センター	全国繊維工業技術協会
12	SOI 基板上に作製したマイ クロヒータデバイスとその 応用	豊島克久	平成 24 年 10 月 25 日	ホテルプリシード 郡山	情報通信・エレクトロニ クス部会 第 8 回電子技 術分科会 第 13 回実装・ 信頼性研究会
13	広域首都圏輸出製品技術支 援センターに関する事業紹介 等	小林丈士	平成 24 年 10 月 25 日	ホテルプリシード 郡山	情報通信・エレクトロニ クス部会 第 8 回電子技 術分科会 第 13 回実装・ 信頼性研究会
14	故障解析における破壊断面 作製手法について	小宮一毅	平成 24 年 10 月 25 日	ホテルプリシード 郡山	情報通信・エレクトロニ クス部会 第 8 回電子技 術分科会 第 13 回実装・ 信頼性研究会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	会議の名称
15	漆工芸品（漆器）における国産材の現状について	村井まどか	平成24年11月1日	ホテルサンシャイン	製造プロセス部会 第20回塗装工学分科会
16	平成22、23年度の依頼試験における依頼品（サンプル）と試験内容の分析	堀江暁	平成24年11月2日	山形県工業技術センター置賜試験場	ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会生産技術研究会
17	中小製造業の事業計画～商品開発～販売促進企画支援	薬師寺千尋	平成24年11月8日	神奈川県産業技術センター	ライフサイエンス部会デザイン研究会 第6回研究発表会
18	熱流体解析システムの技術支援事例と精度向上について	富山真一	平成24年11月13日	都産技研 本部	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第10回組込み技術研究会
19	サービスロボットの事業支援の協力関係の提案	坂下和広	平成24年11月13日	都産技研 本部	情報通信・エレクトロニクス部会情報技術分科会
20	FPGAの動的部分再構成機能を使ったパワーゲーティングについて	岡部忠	平成24年11月13日	都産技研 本部	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会第10回組込み技術研究会
21	現場実測による応急仮設住宅の遮音性能の把握	渡辺茂幸	平成24年11月13日	都産技研 本部	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第6回音・振動研究会
22	浮動小数点データの通信コスト削減を目的とした圧縮技術の開発	山口隆志	平成24年11月14日	都産技研 本部	情報通信・エレクトロニクス部会情報通信研究会
23	静音かつ会話がしやすい感染症対策用ファン付き保護具の開発	服部遊	平成24年11月14日	都産技研 本部	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第6回音・振動研究会
24	非接触三次元測定機の測定事例	小船論史	平成24年12月6日	ホテル福島グリーンパレス	知的基盤部会計測分科会 第12回形状計測研究会
25	ホールプレート測定—東京4機関のまとめ—	徳田祐樹	平成24年12月6日	ホテル福島グリーンパレス	知的基盤部会計測分科会 第12回形状計測研究会
26	都産技研の製品開発事例—高感度光ファイバー温度計—	沼尻治彦	平成24年12月6日	ホテル福島グリーンパレス	知的基盤部会計測分科会 第43回温度・熱研究会
27	特殊形状試料の熱膨張測定	大久保一宏	平成24年12月6日	ホテル福島グリーンパレス	知的基盤部会計測分科会 第43回温度・熱研究会
28	フラッシュ法によるプラスチックの熱拡散率・熱伝導率評価	山中寿行	平成24年12月6日	ホテル福島グリーンパレス	知的基盤部会計測分科会 第43回温度・熱研究会
29	アモルファス炭酸カルシウムについて	吉野徹	平成24年12月6日	(独)産業技術総合研究所 中部センター	ナノテクノロジー・材料部会セラミックス分科会 第47回セラミックス技術担当者会議
30	草本系リグニンから調製した活性炭の細孔構造と吸着性能	飯田孝彦	平成24年12月6日	奈良県・地方公務員共済組合連合会 猿沢荘	ナノテクノロジー・材料部会 第6回木質科学分科会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	会議の名称
31	高分子分科会の共同研究—H22-24 技術向上支援事業—	清水研一	平成 25 年 2 月 6 日	(独)産業技術総合研究所 つくばセンター	ナノテクノロジー・材料部会総会
32	プラスチックの耐候性に関する共同研究 (第 2 報)	清水研一	平成 25 年 2 月 6 日	(独)産業技術総合研究所 つくばセンター	ナノテクノロジー・材料部会総会
33	都産技研のデザイン支援と商品化支援	薬師寺千尋	平成 25 年 2 月 6 日	(独)産業技術総合研究所 つくばセンター	ライフサイエンス部会 バイオテクノロジー分科会 合同研究発表会
34	メカトロ試験装置 WG 第一回会議資料	島田茂伸	平成 25 年 2 月 18 日	(地独)北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場	製造プロセス部会メカトロ試験装置 WG

5.6.7 学協会連携事業

学協会が有するシーズを都内中小企業のものづくりに生かすため、中小企業と学協会との連携を推進する学協会連携事業を実施した。平成 24 年度に実施した事業は以下の通りである。

開催年月日	連携学協会	連携事業名	参加者(名)	会場
平成 24 年 5 月 16 日	(一社)表面技術協会ライトメタル表面技術部会	ライトメタル表面技術部会見学会	21	交流室
平成 24 年 7 月 27 日	漆を科学する会	漆を科学する会シンポジウム	45	531 会議室
平成 24 年 9 月 21 日	(一社)日本機械学会関東支部 東京ブロック	サービスロボット安全規格 IS013482 の概要とその課題	43	東京イノベーションハブ
平成 24 年 10 月 5 日	(公社)砥粒加工学会	極表面の硬さ評価の最新動向	54	東京イノベーションハブ
平成 24 年 10 月 12 日	マテリアルライフ学会表面・界面物性研究会	表面・界面物性研究会 2012 秋季発表・講演会	29	研修室 243
平成 24 年 10 月 12 日	(公社)精密工学会	最先端の研究室めぐり	24	東京イノベーションハブ
平成 24 年 10 月 15 日 16 日	(一社)日本木材学会木材接着研究会	木材接着研究のいま	52	東京イノベーションハブ
平成 24 年 10 月 17 日	(公社)日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会	電池をささえる材料、要素技術	40	東京イノベーションハブ
平成 24 年 10 月 25 日	日本福祉工学会	福祉機器の現状とその有用性	39	たましん事業支援センター
平成 24 年 10 月 26 日	(公社)日本セラミックス協会 珪瑯部会	珪瑯技術講演会	42	531 会議室 東京イノベーションハブ
平成 24 年 11 月 7 日	(一社)表面技術協会表面改質・硬化部会、材料機能ドライプロセス部会、電鍍・金型の表面処理研究部会	ドライプロセスの新潮流 一次世代“高イオン化”スパッタリング技術交流会—	124	東京イノベーションハブ
平成 24 年 11 月 16 日	(公社)計測自動制御学会	温度計測・回顧と展望	93	東京イノベーションハブ

開催年月日	連携学協会	連携事業名	参加者 (名)	会場
平成 24 年 11 月 29 日	(社)日本繊維機会学会関東支部	繊維系研究機関シンポジウム	47	東京イノベーションハブ
平成 24 年 12 月 13 日	(一社)電気学会	安全な省エネ・省資源社会の構築	37	講堂
平成 24 年 12 月 14 日	制振工学研究会	制振工学の現在 (いま)	80	講堂 531 会議室 東京イノベーションハブ
平成 24 年 12 月 17 日	(一社)ニューガラスフォーラム	ガラス科学技術研究講演会	27	531 会議室
平成 25 年 1 月 25 日	(特非)FPGA コンソーシアム	プログラマブルデバイスで広がる可能性	72	東京イノベーションハブ
平成 25 年 1 月 28 日	(特非)キッズデザイン協議会	キッズデザイン製品開発支援セミナー	36	デザイン セミナー室
平成 25 年 3 月 6 日	(一社)日本照明委員会	LED 等各種光源は眼に対して安全なのか?	85	東京イノベーションハブ
平成 25 年 3 月 8 日	マテリアルライフ学会表面・ 界面物性研究会	表面・界面物性研究会 2013 春 期講演会	29	研修室 243

また、各連携事業において、都産技研の事業紹介や研究成果等の発表を行った。発表タイトル等は以下の通りである。

発表タイトル	発表者	開催年月日	連携学協会
表面技術グループ研究開発事業紹介	木下稔夫	平成 25 年 5 月 16 日	(一社)表面技術協会 ライトメタル表面技術部会
アルミニウムダイカスト不純物金属組織	山田健太郎	平成 25 年 5 月 16 日	(一社)表面技術協会 ライトメタル表面技術部会
ダイヤモンドコーテッド工具によるドライプレス加工	玉置賢次	平成 24 年 10 月 5 日	(公社)砥粒加工学会
精密微細加工機の紹介	藤巻研吾	平成 24 年 10 月 5 日	(公社)砥粒加工学会
PE-RS で評価した公設試の促進耐候試験機の現状	清水研一	平成 24 年 10 月 12 日	マテリアルライフ学会
超精密微細加工機の紹介	藤巻研吾	平成 24 年 10 月 12 日	(公社)精密工学会
キャッチャー剤に頼らないホルムアルデヒド —空気噴射プレスで製造した木質ボードの VOC 放散特性—	瓦田研介	平成 24 年 10 月 15 日	(一社)日本木材学会木材 接着研究会
静音かつ会話がしやすい医療用呼吸保護具 の開発	服部遊	平成 24 年 10 月 25 日	日本福祉工学会
東京都立産業技術研究センターの概要	田中実	平成 24 年 10 月 26 日	(公社)日本セラミックス 協会瑛瑯部会

発表タイトル	発表者	開催年月日	連携学協会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	渡部友太郎	平成 24 年 11 月 7 日	(一社)表面技術協会表面改質・硬化部会、材料機能ドライプロセス部会 電鋳・金型の表面処理研究部会
マイクロバブルを利用した羊毛の染色加工	榎本一郎	平成 24 年 11 月 29 日	(社)日本繊維機会学会 関東支部
ボンベガスを用いた窒素酸化物による染色堅ろう度試験方法	岡田明子	平成 24 年 11 月 29 日	(社)日本繊維機会学会 関東支部
3次元デジタルエンジニアリング機器による製品設計支援	横山幸雄	平成 24 年 12 月 13 日	(一社)電気学会
都立産業技術研究センター概要説明	田中実	平成 24 年 12 月 17 日	(一社)ニューガラス フォーラム
ガラス製品の破損事故解析	上部隆男	平成 24 年 12 月 17 日	(一社)ニューガラス フォーラム
FPGA を活用した製品開発と研究事例紹介」～高信頼化と省電力化を目指して～	武田有志	平成 25 年 1 月 25 日	(特非)FPGA コンソーシアム
販売促進企画講座「製品。商品の売り方等の販売促進についての事例紹介とレクチャー」	薬師寺千尋	平成 25 年 1 月 28 日	(特非)キッズデザイン 協議会
都産技研におけるドライプロセスによる成膜技術	渡部友太郎	平成 25 年 3 月 8 日	マテリアルライフ学会 表面・界面物性研究会